



ちゅうりっぷ組だより 6月号



紫陽花がきれいに色づく季節となりました。

先日、散歩へ出掛け花の近くまで行ってみました。

「見て、きれいだね」と話し掛けると手を伸ばし

触ろうとしたり、指をさしながら「あ、あ、」「うーうー」と声を出したり

して興味津々でした。中には少し離れたところで、保育者と一糸者に見る子もいましたが自然を感じてもらえたようでした。

令和3年6月18日
ことり保育園
担当:石崎

ところで、ある日新しいおもちゃを出してみました。

「ホッポ、落とし」(容器の上に穴が開いていて棒状のものが入るおもちゃ)という物です。するとすぐに容器を手に取り

不思議そうに見ているので保育者が入れて見せると「やりたい」と言わんばかりの勢いで棒を掴み遊び始めました。

「もう少し」という子には手を添えてあげ「ホッポ」と。

次からは一人で笑顔一杯に何度もくり返し、遊んでいました。容器が気に入りに持っていくとしたり、棒を集めたりして興味の示し方はさまざまですが、満足そうな表情でした。

これからも一人一人の「個性」を受け止め
楽しく過ごしていきます。

